

平成最後の 偕行社観桜会

偕行社事務局

3月29日、靖國神社で昇殿参拝の後、12時から靖國會館「偕行の間」で観桜会を開催した。

まず挨拶に立った森理事長は、ご出席いただいた国会議員、友好団体、法人賛助会員、及び偕行社会員等に感謝の言葉を述べ、「靖國神社の桜は昨日満開となりましたが、今日は花冷えのする中、靖國におわします英霊に思いをはせながら、楽しいひと時を過ごして頂ければ幸いに思います」と挨拶した。

続く来賓祝辞は、まず、小田原潔衆議院議員が、衆議院予算委員会での質疑について披露した後、「教科書の記述を真つ当なものに替え、自衛官の子供たちが胸を張って授業を聞ける、そういう世の中を作るため、引き続き精一杯努力をして参ります」と述べた。

山谷えり子参議院議員は、皇后陛下が作曲された「おもひ子」という子守唄のエピソードを紹介した後、「憲法改正の正念場と思つて皆で頑張つて参りたいと思います」と語った。

靖國神社の山口建史宮司は、昨年の宮司人事に触れ、靖國神社創建150年事業の準備状況を説明した後、「御代替わりに伴う儀式等日本の歴史文化

伝統に則つた極めて重要な年になります。どうぞ皆様方からもお力添えを頂ければありがたく存じます」と述べた。

航空幕僚監部総務部長荒木哲哉空将補は、「昨年12月に防衛大綱と中期防衛力整備計画が策定され、多次元統合防衛力ということので、これから陸海空自衛隊が一緒になって新しい防衛省・自衛隊を築き上げて国民の負託に応えるつもりです」と抱負を語った。

水交会の赤星慶治理事長の祝辞の後、列席来賓の紹介、佐藤正久参議院議員及び宇都隆史参議院議員からの祝電披露と続き、隊友会久納雄二常務執行役の音頭による乾杯で懇談に入った。

恒例の軍歌演習は、陸士61小倉健男評議員の指揮により「偕行百年」「陸軍士官学校校歌」「陸上自衛隊幹部候補生学校校歌」「加藤隼戦闘隊」「この国は」を斉唱し、大いに盛りあがった。

最後に、つばさ会の戸田眞一郎副会長の音頭で観桜会は締めくくられた。



挨拶をする森理事長